

【活動事例の紹介】

教室名	久下っ子ふれあいスクール
-----	--------------

取組内容

(1) 実施内容

令和2年度・3年度ともコロナ禍の影響で、ほとんどの活動を自粛した。令和4年度、ホタル観賞会は形態を変えて実施した。過去の取組も交えて紹介する。

ア 生活科 ホタルの授業 令和3年6月17日(木)

協力団体：久下、太井地区ホタル愛好会

参加者：児童1～2年生 72名

ホタル観賞会 令和4年6月16日(木)・17日(金)

協力団体：久下、太井地区ホタル愛好会

参加者：全学年、保護者

イ もちつき・火起こし体験 令和元年度実施

(協力団体：久下小教職員、PTA役員)

ウ 久下・太井郷土かるた大会 令和元年度実施

(協力団体：久下小学校区連絡協議会)



(2) 事前準備

ア ホタルの授業

多目的ホールを会場に設定し、講師用の長机、椅子等を用意した。写真、スライドも写すので、書画カメラ、スクリーンを用意した。

ホタル観賞会

トミヨ池付近の整備、受付場所、照明、飲料、鉛筆等

(3) 当日の様子

3年ぶりのホタル観賞会だった。例年と場所を変え、来賓は招待せず希望者のみで行ったが、大盛況であった。子供、保護者、卒業生など本物のホタルを見たことがない人が多く、とても楽しんで参加していた。

工夫した点・ポイント

ア ホタルの授業

コロナ禍以前は屋外で夜間に観賞していたが、今年度は安全面を考慮し、1～2年生限定で時間も45分ずつに区切って実施した。

イ ホタル観賞会

参加者が多かったので、2日間に分けて開催したこと。また、場所を従来の元荒川ではなく、校内のトミヨ池付近で行ったことで、除草等の作業が大きく軽減された。

成果・今後の展望

本物のホタルを見たことがない児童も多くいる中で、大人も子供も楽しんで観察をすることができ、児童にとって新しい発見が数多くあった。講師の先生の話聞く中で、自然愛護の心も育った。今年度は規模を縮小して行ったが、十分成果をあげることができたので、来年度も開催方法等を含め、さらに検討していく。ホタルの飼育は大変な面もあるが、久下の自然を守っていくため、また、環境に関心を持ってもらうため、これからも地域と連携を図っていきたい。